

# ロシア 東欧 経済速報

発行 ロシア東欧貿易会 東京都中央区新洲1-8-12 金山ビル 郵便番号104 電話 (3021) 6215~9  
ロシア東欧経済研究所 [購読料 送料共前送 1ヶ月1,500円 1年16,000円]

1997年(平成9年)6月15日 No. 1059

| 目 次                         |    |
|-----------------------------|----|
| 1996年のロシアの国際収支              | 1  |
| —経常黒字に若干の陰り?—               |    |
| キーパーソン                      | 11 |
| クドリン財務第一次官が極東プログラムを担当       | 11 |
| 統計速報                        | 12 |
| 1997年1~4月の日本の対C I S・東欧主要国貿易 | 12 |
| データフラッシュ                    | 12 |
| C I S 諸国通貨の最新為替レート          | 12 |

## 1996年のロシアの国際収支

### —経常黒字に若干の陰り?—

はじめに ロシアの『経済と生活』紙(1997, No.21)に、1996年のロシアの国際収支統計が発表された。そこで本号では、この国際収支統計の抜粋と、ポチョムキン・ロシア中銀副総裁による解説の要旨をお伝えする。

ロシアの国際収支統計は、1993年に改定されたIMFマニュアルの最新版に則り、ロシア中央銀行が主体となって作成している。ロシアの各種年次統計のなかでは、最も遅い時期に発表され、発表後にも少なからぬ修正が加えられる。その意味では、一番念入りに作成された、一定の信頼を置ける統計とみていい。

事実、今回1996年のデータと併せて、前年のデータの改定値も掲載されているが、経常勘定を中心にかなりの見直しがなされている。1995年のロシアの経常黒字は、当初の新聞発表では123億ドルとされていた。その後刊行された『統計年鑑』では、113億ドルの経常黒字と修正された。それが、今回新たに95億ドルの黒字という修正値が示されているのである。しかも、1995年第3四半期には、小幅ながら経常赤字を記録していたことも明らかになった。ロシアの国際収支統計で、四半期ベースでの経常赤字が確認されたのは、今回がはじめてである。

1996年のロシアの経常収支は93億ドルの黒字で、黒字幅は前年を1.6億ドル下回った。注目すべきことに、1996年についてもすでに発表済みだったデータが改定されている。2月時点の発表では、1996年1~9月期の経常収支は102億ドルの黒字とされていた。ところが、今回の国際収支表では、1~9月期の経常収支は56億ドルの黒字と大幅に下方修正されている。

全体として、統計の精度が高まるにつれ、ロシアの経常黒字が従来想定されていたものよりも小規模であることが明らかになってきたと言える。